

海側遮水壁の閉合作業完了について

2015年11月6日

東京電力株式会社



東京電力

海側遮水壁閉合作業の概要①

- ◆ 9/10から開始した海側遮水壁の閉合作業については、9/22に鋼管矢板の打設を完了し、10/26に継手の止水処理を完了しました。引き続き、閉合箇所近傍の埋立等を実施してまいります。

<閉合作業開始前>



<閉合作業完了後>



	2015年				2016年	
	9月	10月	11月	12月	1月	2月
閉合作業	■		鋼管矢板打設 (9/10~22) 継手止水処理 (10/8~26)			
埋立・舗装等			埋立等 (水中コンクリート打設, 割栗石投入等) ■		フェーシング等 ■	

海側遮水壁閉合作業の概要②

<作業概要>

- 閉合作業開始日; 2012年 4月25日
- 閉合作業終了日; 2015年10月26日(閉合作業終了)
- 鋼管矢板本数; 594本
- 延長; 約780m
- 協力企業; 鹿島建設・前田建設工業 等

- ⇒ 1～4号機側の敷地から港湾内に流れている地下水をせき止めることができ、海洋汚染をより一層防止できると考えています。また、万一、汚染水漏れ等があっても、海洋に流出するリスクが大幅に低減できると考えています。
- ⇒ 海側遮水壁閉合作業完了にともない、汚染水対策の3つの基本方針である「汚染水を漏らさない」対策が進み、「汚染源を取り除く」「汚染源に水を近づけない」対策も合わせ汚染水対策が大きく前進しました。

- 止水効果については、海側遮水壁の陸側の地下水位上昇が表れはじめている状況です。今後も港湾内をしっかりと監視していきます。
- サブドレンの運用についても、設備の管理をしっかり行い、運用目標等を厳守していきます。

【参考】サブドレン・地下水ドレン稼働概要

